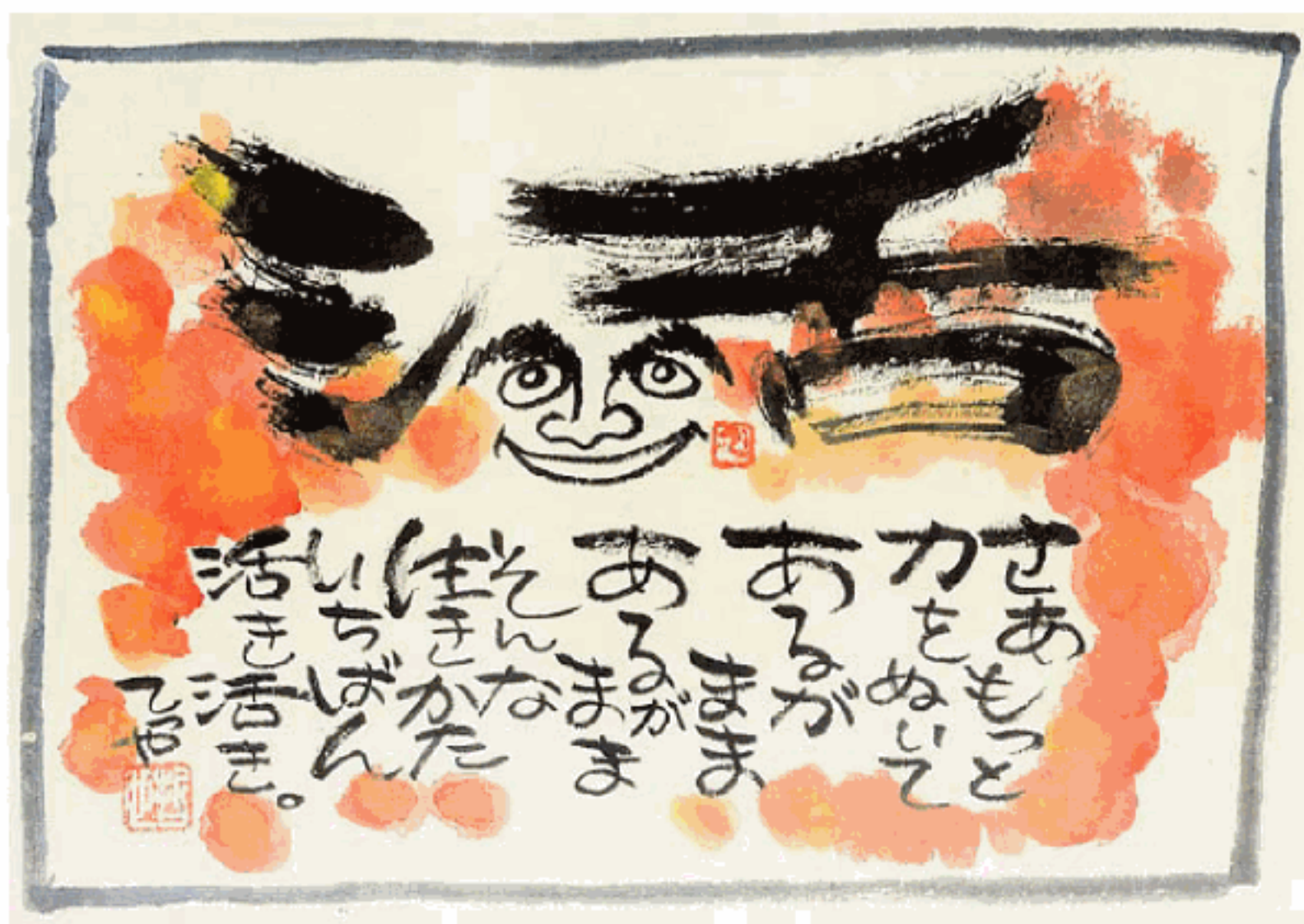


A News Letter of Woody Akiba

住まいのニュースレター Akiba

平成16年5月号



画 むげんてつや 先生

ごあいさつ

泉幸甫先生の事務所に行くには、都電荒川線の「鬼子母神前」で下車します。いつも時間に少し余裕をもって到着して、鬼子母神をお参りします。というのははげやきの巨木が住宅と絡み合うようにそびえる参堂の風景を見たいからです。両側に、くねったはげやきの大樹がそびえます。その幹の存在感に住宅は完全に圧倒されています。なんだか、不思議な空間に迷い込んだような気がするんです。童話の世界のような有様がとっても気に入っています。

さて、弊社ではいま、願ってもないすばらしい住宅を施工しています。木造軸組みのなかでも、渡りあご・追っ掛け大栓を駆使した伝統工法による家を建築しているのです。今月はそのご紹介をさせていただきます。滅多にないチャンスに大工の棟梁ともども燃えています。是非工事現場をご見学ください。お待ちしております。

設計は「高野デザインプロデュース」の高野祐之先生が手がけられました。高野先生の仕事場は印旛沼の近くにあり、なんと江戸時代の民家を修復した建物なんです。その隣には陶芸アトリエになっている建物がありこちらも必見ですよ。

今月はいつもよりもっと大張り切りの私です。(秋葉)



高野先生のアトリエ風景

A News Letter from Woody Akiba

ニュースレターAkiba

シンプル・木造軸組の美しい形をごらんください



小屋組み、化粧母屋の整然とした並び



桁と柱が重なり合う美しい軸組み

弊社では現在、成田市において高野祐之先生の設計による住宅を建築しています。未だかつてこれほどまでに整然とした、美しい軸組みを見たことがありません。高野先生と仕事ができただけの幸運に感謝しています。また、大きなチャンスを下さった山崎様どうもありがとうございます。(秋葉)

「木のこと、大工職人さんのことへの思いを込めている工務店に出会いたい！」当初そんな願いからめぐり会ったのが八日市場市にある秋葉建設さんだ。事務所で二代目の忠夫さんと棟梁の羽山さんにお会いして、話を伺いながら「直感」した。見積りの丁寧さにも魅かれた。現在では、所員高松は宝物を扱うがごとく、目録のように現場に通っている。見事な材や「仕口・継手」の伝統工法を生かした、新しいモダンな住まいの実現へ、期待を込めて歩んでいる。山はまだまだある！
高野デザインプロデュース 高野祐之 (先生より)

四方からの仕口は技と呼吸をあわせて少しずつ入れます



伝統工法の極めつけ、渡りあごの仕口

高野 祐之 先生プロフィール

高野デザインプロデュース所長
愛知県立芸術大学非常勤講師
代表的な作品に、水の国ミュージアム(島根)、印旛の家(千葉)等があり、島根景観賞・アメリカンウッドデザイン賞等を受賞している。

“木のぬくもり、風と光が存分に入る家”そんな私たちの思いを100%受け止めて夢を現実にして下さった高野先生、そして大工さんとあ・うんの呼吸で夢を形にして下さる秋葉建設さん、お二方と出会えたことは本当に幸運でした。仕事以上の愛情を注いで下さる皆様に日々感謝しながら完成を楽しみにしている私たちです。 山崎(様より)



上棟後の記念撮影

建主さんを囲んで前列右端が高野先生、後列右端が高松研究員、後列中央が棟梁羽山です。ほか大工の面々。

現場見学をご希望の方にはご案内を差し上げます。私がいうのはおこがましいと承知してはおりますが「滅多に見ることのできない」建物です。ご希望の方は下記までお気軽に。

ご連絡先 秋葉建設(株) 秋葉 忠夫
〒289-2163八日市場市南神崎52-1
電話0479-72-0814 FAX0479-72-0824
携帯090-4607-2895(留守電でもOKです。)

Eメール akibakk@rapid.ocn.ne.jp
HP URL <http://www1.ocn.ne.jp/~akiba/>
次号も「読んであげてもいいよ」と思った方、是非ご連絡をお待ちしてます。ご住所・お名前・Eメールアドレスを教えてください。